



ベトナムの中秋節

北陸銀行 国際部
ホーチミン駐在員事務所
グエン・ゴク・ビン・アン

1. はじめに

ベトナムの文化を楽しくお祭り気分体験したい方は、「テト・チュン・トゥー」として知られている「中秋節」の時期にベトナムを訪れることをお勧めします。

中秋節とは、旧暦8月15日に行われる伝統的なお祭りのことを指します。2023年は9月29日の金曜日が中秋節でした。ベトナムでは他の地域と違い、中秋節は子供のためのお祭りとして定着しています。

子供たちは提灯を持って市街地を練り歩いたり、獅子舞を見たり、月餅を食べたりとさまざまなアクティビティを楽しみます。日本のように静かに月を愛でるという雰囲気ではありません。

経済が発展したベトナムでは、家族が離れて暮らす家庭が多くなったため、中秋節はテト（旧正月）と同様に家族全員が集まる貴重なイベントとして大事にされています。また中秋節には、大地の神に収穫への感謝の気持ちを表し、来年の幸福を祈る風習もあります。

2. 中秋節の催しもの

実際にベトナム人は中秋節の時期をどのように過ごしているのかご紹介します。

(1) 提灯を持って街を練り歩く

中秋節の時期に目にする最も象徴的なシンボルは、子供たちが市街地を集団で歩くときに持っている星型の提灯です。星は希望と光、そして五行（風水の考え方）の象徴でもあります。最近では、動物型やキャラクター型など子供たちが喜ぶ形の提灯も多く販売されています。

(2) 月餅を贈る／食べる

もう一つの中秋節のシンボルは月餅です。月餅は満月と家族の再会を意味します。

ベトナムでは中秋節の時期に、月餅を贈る習慣があります。日本の「お中元」の風習に似たものです。ベトナム人は、中秋節に月を愛でながら家族みんなで月餅を食べます。

【有名飲食店の月餅パッケージ(筆者撮影)】



(3) 獅子舞を観る

獅子舞は、中秋節に見られる活気に満ちた華やかな光景の一つです。獅子舞は人々に幸運をもたらし、悪霊を追い払うと信じられています。中秋節や旧正月の時期になると、獅子舞グループは太鼓を打ち、踊りながら通りをパレードします。賑やかな雰囲気の中で観ている人をうきうきとした気分させてくれます。

(4) クオイの物語を話す／聞く

中秋節に語られる昔話は、ベトナム人なら誰でも知っている「クオイの物語」です。どんな病気でも治すことのできるガジュマルの木を見つけた木こりクオイのお話で、クオイはこのガジュマルの木を庭に植えて大切に育てていました。ある日、妻が誤って木に汚い水を与えたところ、ガジュマルの木はクオイがしがみついたまま月へ飛んでいってしまいました。月でたった一人になったクオイは、毎年、中秋節になると地球にいる妻や親しい友人に声をかけると伝えられています。

3. おわりに

ベトナムの中秋節はベトナム人の価値観と伝統を反映した行事です。街全体がお祭りのような賑わいを見せる時期なので心がワクワクすると思います。中秋節が近づくに連れて、ホーチミン市5区にあるランタンストリートには、多くのベトナム人がランタンを買い求めに来ます。1年に1度、この時期にしか見られない光景が広がります。



【ランタンストリートの賑わい(筆者撮影)】

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。
記載内容については利用者の判断と責任のもと、ご利用くださいますようお願いいたします。

ほくりく長城会

長城メール

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局
〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F
(株)人材情報センター内
TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565
E-mail: info@chojo-hokugin.jp